

# 2014年12月期決算 参考資料

I サマリー情報	P.1
① 経営成績	P.1
② 財政状態	P.1
II 2014年12月期 実績	P.2
① 損益計算書	P.2
② 製商品別売上高	P.4
③ 貸借対照表	P.5
④ キャッシュ・フロー計算書	P.6
⑤ 設備投資の状況	P.7
⑥ 非資金項目	P.7
⑦ 研究開発の状況	P.7
【参考】 12ヶ月情報	
① 損益計算書	P.8
② 製商品別売上高	P.9
III 2015年12月期 業績予想	P.10
① 損益計算書	P.10
② 製商品別売上高	P.12
③ 設備投資の状況	P.13
④ 非資金項目	P.13
⑤ 配当	P.13
【将来に関する記述等についてのご注意】	P.13

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てして表示しております。

2015年2月4日



鳥居薬品株式会社

# I サマリー情報

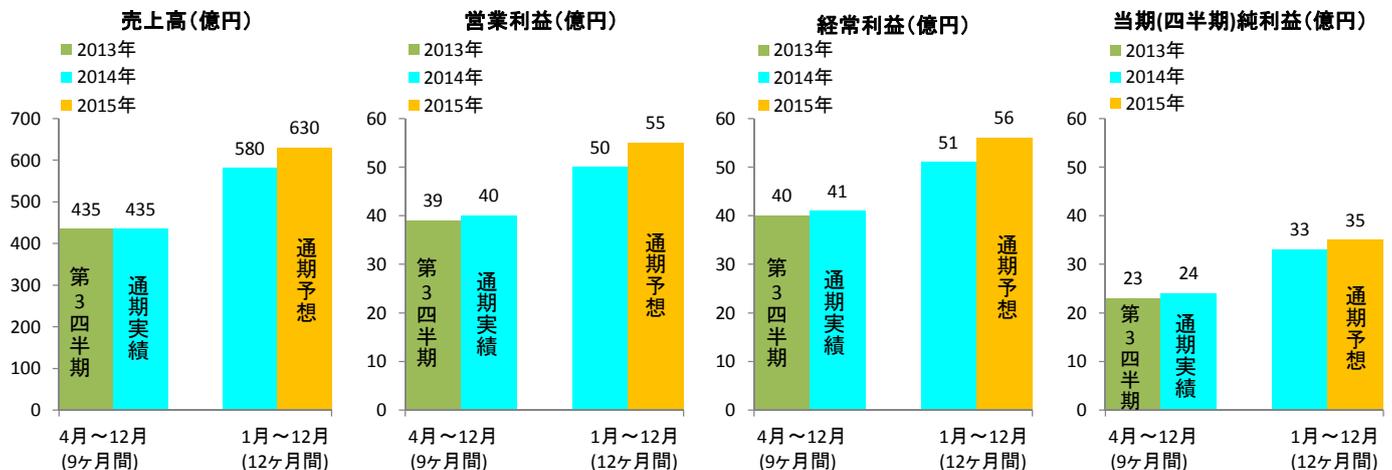
## ① 経営成績

(単位:百万円)	2014年3月期 第3四半期 A	2014年12月期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2014年 1~12月 C	2015年12月期 通期予想 D	増減 D-C	増減率 (%) (D-C)/C
売上高	43,524	43,504	△20	△0.0	58,089	63,000	4,910	8.5
営業利益	3,986	4,032	45	1.1	5,033	5,500	466	9.3
経常利益	4,098	4,142	43	1.1	5,168	5,600	431	8.3
当期(四半期)純利益	2,378	2,419	41	1.7	3,394	3,500	105	3.1

※ 当社は、2014年12月期から、決算期を毎年3月31日から毎年12月31日に変更しております。従いまして、決算期変更の経過期間となる2014年12月期は9ヶ月決算となっております。そのため、当期実績との比較として、前年同一期間である2014年3月期第3四半期（2013年4月1日～12月31日）の実績数値を、参考として記載しております。また、2015年12月期通期予想との比較として、2014年1月1日から12月31日までの12ヶ月情報（計算方法はP.8を参照）を記載しております。

### (参考)

研究開発費	5,184	3,400	△1,784	△34.4	4,878	4,530	△348	△7.1
1株当たり当期(四半期)純利益(EPS)	(円) 84.03	85.50	1.47		—	123.68	—	
自己資本当期(四半期)純利益率(ROE)	(%) 3.1	3.0	△0.1		—	—		
総資産経常利益率	(%) 4.5	4.5	0.0		—	—		
売上高営業利益率	(%) 9.2	9.3	0.1		—	—		
総資産当期(四半期)純利益率(ROA)	(%) 2.6	2.6	0.0		—	—		



## ② 財政状態

(単位:百万円)	2014年3月期 A	2014年12月期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
総資産	93,137	92,550	△587	△0.6
純資産	79,018	80,225	1,206	1.5
自己資本比率	(%) 84.8	86.7	1.9	
1株当たり純資産(BPS)	(円) 2,792.14	2,834.82	42.68	

## Ⅱ 2014年12月期 実績

### ① 損益計算書

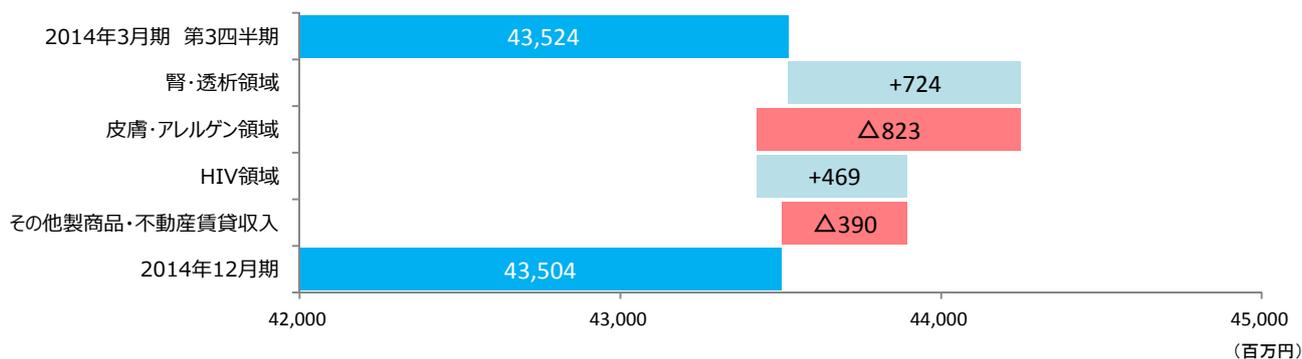
(単位:百万円)	2014年3月期		2014年12月期	増減額	増減率 (%)
	第3四半期				
	A	B	B-A	(B-A)/A	
売上高	43,524	43,504	△20	△0.0	
製商品売上高	43,356	43,334	△22	△0.1	
腎・透析領域	17,583	18,307	724	4.1	
皮膚・アレルギー領域	9,659	8,836	△823	△8.5	
HIV領域	10,952	11,421	469	4.3	
その他	5,161	4,768	△392	△7.6	
不動産賃貸収入	168	170	1	1.1	
売上原価	19,457	20,587	1,129	5.8	
製商品売上原価	19,414	20,543	1,129	5.8	
不動産賃貸原価	43	43	0	0.9	
売上総利益	24,066	22,917	△1,149	△4.8	
販売費及び一般管理費	20,080	18,885	△1,195	△6.0	
販管費(研究開発費除く)	14,896	15,484	588	4.0	
研究開発費	5,184	3,400	△1,784	△34.4	
営業利益	3,986	4,032	45	1.1	
営業外収益	131	119	△12	-	
営業外費用	18	8	△10	-	
経常利益	4,098	4,142	43	1.1	
特別損失	3	361	358	-	
税引前当期(四半期)純利益	4,095	3,781	△314	△7.7	
法人税等	1,717	1,361	△355	△20.7	
当期(四半期)純利益	2,378	2,419	41	1.7	

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2014年3月期		2014年12月期	増減
	第3四半期			
	A	B	B-A	
売上原価	44.7	47.3	2.6	
販売費及び一般管理費	46.1	43.4	△2.7	
研究開発費	11.9	7.8	△4.1	
営業利益	9.2	9.3	0.1	
経常利益	9.4	9.5	0.1	
当期(四半期)純利益	5.5	5.6	0.1	

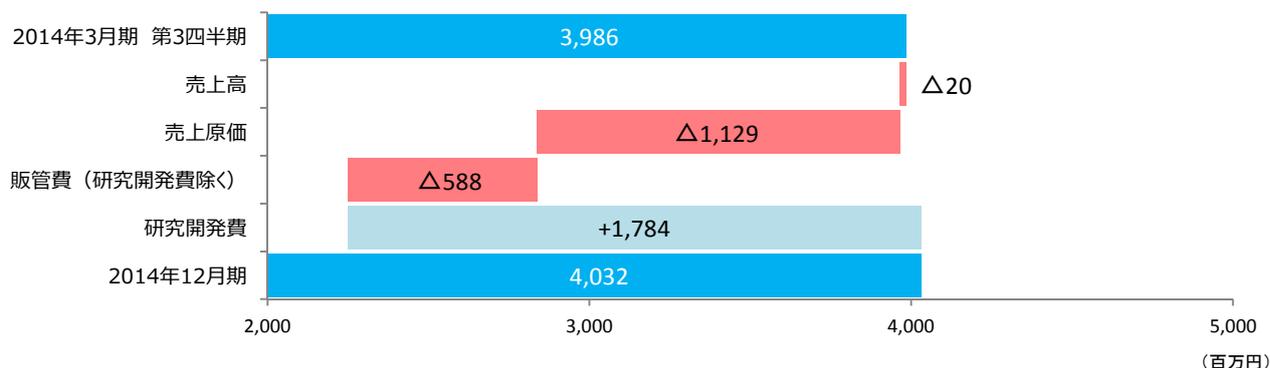
【対前年同一期間実績増減要因】

売上高 (43,504百万円 対前年同一期間 △20百万円)



主な増減要因				
腎・透析領域	： リオナ錠	+1,811百万円	、 注射用フサン	△520百万円
	： ユリノーム錠	△493百万円		
皮膚・アレルギー領域	： アンテベート	△395百万円	、 ドボネックス軟膏	△237百万円
HIV領域	： スタビルド配合錠	+1,245百万円	、 ツルバダ配合錠	△711百万円
※詳細はP.4「② 製商品別売上高」を参照				

営業利益 (4,032百万円 対前年同一期間 +45百万円)



主な増減要因	
売上原価	： 販売品目の構成変化
販管費 (研究開発費除く)	： 給料及び手当、新製品に係るプロモーション費用の増加
研究開発費	： 臨床試験費用 (TO-203) の減少

経常利益 (4,142百万円 対前年同一期間 +43百万円)

特記事項：特になし

当期(四半期)純利益 (2,419百万円 対前年同一期間 +41百万円)

当期 固定資産除却損 361百万円

## ② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2014年3月期 第3四半期		2014年12月期	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
	A	B	B		
製商品売上高	43,356	43,334		△22	△0.1
レミッチカプセル	10,612	10,563		△48	△0.5
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]					
ツルバダ配合錠	9,940	9,229		△711	△7.2
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]					
アンテベート ※1	5,535	5,140		△395	△7.1
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]					
注射用フサン ※1	3,288	2,768		△520	△15.8
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]					
スタビルド配合錠 ※2	696	1,942		1,245	178.9
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]					
リオナ錠 ※3	—	1,811		1,811	—
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]					
ケイキサレート ※1	1,762	1,737		△25	△1.4
高カリウム血症改善剤 [腎・透析領域]					
ビオスリー	1,563	1,619		56	3.6
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]					
ユリノーム錠 ※1	1,919	1,425		△493	△25.7
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]					
ドボネックス軟膏	1,426	1,189		△237	△16.6
尋常性乾癬治療剤 [皮膚・アレルギー領域]					
ゼフナート	1,309	1,146		△163	△12.5
抗真菌薬 [皮膚・アレルギー領域]					
ロコイド ※1	1,064	1,011		△53	△5.0
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]					
マグセント	1,018	961		△56	△5.6
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]					
その他製商品	3,218	2,786		△431	△13.4

※1 自社品

※2 「スタビルド配合錠」は、2013年5月から販売しております。

※3 「リオナ錠」は、2014年5月から販売しております。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2014年3月期 第3四半期		2014年12月期	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
	A	B	B		
自社品売上高	15,124	13,522		△1,602	△10.6
自社品比率 (%)	34.9	31.2		△3.7	—

### ③ 貸借対照表

(単位:百万円)	2014年3月期	2014年12月期	増減額	増減率	構成比
	A	B	B-A	(%) (B-A)/A	(%) (当期)
流動資産	72,466	72,121	△344	△0.5	77.9
現金及び預金	406	6,316	5,909		
キャッシュ・マネジメント・システム預託金	20,708	14,978	△5,730		
受取手形及び売掛金	24,167	25,901	1,734		
有価証券	16,804	13,209	△3,595		
たな卸資産	8,029	10,136	2,107		
その他	2,350	1,579	△771		
固定資産	20,671	20,428	△242	△1.2	22.1
有形固定資産	5,774	5,806	31		
無形固定資産	622	818	196		
投資その他の資産	14,273	13,803	△470		
投資有価証券	6,708	7,070	362		
長期前払費用	5,920	5,230	△689		
その他	1,644	1,502	△142		
資産合計	93,137	92,550	△587	△0.6	100.0
流動負債	13,337	11,391	△1,945	△14.6	12.3
買掛金	6,382	6,095	△287		
未払金	2,998	1,795	△1,203		
未払法人税等	1,202	273	△929		
賞与引当金	1,345	694	△651		
その他	1,407	2,534	1,126		
固定負債	782	933	150	19.2	1.0
負債合計	14,119	12,324	△1,794	△12.7	13.3
株主資本	78,560	79,847	1,286	1.6	86.3
評価・換算差額等	457	377	△79	△17.4	0.4
純資産合計	79,018	80,225	1,206	1.5	86.7
負債純資産合計	93,137	92,550	△587	△0.6	100.0

#### 主な増減要因

(流動資産)

有価証券 : 譲渡性預金、金銭信託の償還による減少

たな卸資産 : 商品及び製品の増加

(固定資産)

投資有価証券 : 債券の取得による増加、有価証券への振替による減少

(純資産)

株主資本 : 当期純利益による増加、配当金の支払による減少

#### ④ キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	2014年3月期	2014年12月期	増減額
	第3四半期 A	B	
税引前当期(四半期)純利益	4,095	3,781	△314
減価償却費	795	924	129
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,143	△1,734	1,408
たな卸資産の増減額 (△は増加)	60	△2,107	△2,167
仕入債務の増減額 (△は減少)	△243	△287	△44
未払金の増減額 (△は減少)	△2,836	△1,207	1,628
長期前払費用の増減額 (△は増加)	580	689	108
法人税等の支払額	△1,106	△1,172	△65
その他	409	504	94
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,388	△609	778
有形固定資産の取得による支出	△531	△555	△24
無形固定資産の取得による支出	△97	△329	△232
その他	15,398	1,384	△14,013
投資活動によるキャッシュ・フロー	14,769	499	△14,269
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,257	△1,410	△153
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	12,123	△1,520	△13,644
現金及び現金同等物の期首残高	17,228	33,414	16,186
現金及び現金同等物の期末(四半期末)残高	29,352	31,894	2,542

(注) 現金及び現金同等物は、現金及び預金（預入期間が3ヶ月を超える定期預金を除く）、キャッシュ・マネージメント・システム預託金、有価証券（取得日から償還日迄の期間が3ヶ月を超えるものを除く）からなっております。

#### 主な増減要因

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

たな卸資産の増減額 : 当期 商品及び製品の増加

未払金の増減額 : 前期 販売権（スタリビルド配合錠）の取得に係る契約一時金の支払

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

その他 : 前期 有価証券の売却及び償還による収入

## ⑤ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2014年3月期	2014年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	第3四半期 A	B		
設備投資額	990	1,514	524	52.9
有形固定資産	888	1,156	267	30.1
無形固定資産	102	358	256	250.0

### 当期の設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力向上を目的とする製造設備への投資  
 無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

## ⑥ 非資金項目

(単位:百万円)	2014年3月期	2014年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	第3四半期 A	B		
減価償却費	795	924	129	16.2
長期前払費用償却費	627	700	73	11.7

## ⑦ 研究開発の状況

開発番号	予定適応症等	剤形等	開発段階（国内）					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
<b>皮膚・アレルギー領域</b>								
TO-203	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性鼻炎) (減感作療法(アレルギー免疫療法)薬)	舌下錠				申請		・ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ・2015年1月26日に製造販売承認申請
	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性喘息) (減感作療法(アレルギー免疫療法)薬)	舌下錠		Phase II/III				・ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発
TO-204	室内塵ダニアレルギー疾患 (喘息およびアレルギー性鼻炎) (減感作療法(アレルギー免疫療法)薬)	注射剤					承認	・ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ・2014年12月26日に製造販売承認取得
TO-205	アレルギー疾患のアレルゲンの確認 (アレルゲン検査薬(室内塵ダニ))	注射剤					承認	・ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ・2014年12月26日に製造販売承認取得
TO-206	スギ花粉症 (減感作療法(アレルギー免疫療法)薬)	舌下錠		Phase II/III				・自社開発
JTE-350	アレルギー皮膚テスト実施時の陽性コントロール (ヒスタミン二塩酸塩製剤)	注射剤				申請		・ALK社と日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結 ・日本たばこ産業(株)との共同開発 ・日本たばこ産業(株)が2014年12月22日に製造販売承認申請

※ 厚生労働省主催の「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」における開発企業募集品であります。

前回公表時（2014年10月30日）からの変更点：TO-203(鼻炎)の国内製造販売承認申請  
 TO-204、TO-205の国内製造販売承認取得  
 日本たばこ産業(株)によるJTE-350の国内製造販売承認申請

## 【参考】 12ヶ月情報

※当社は、2014年12月期から、決算期を毎年3月31日から毎年12月31日に変更しております。  
参考として「2013年及び2014年1～12月数値」（計算方法は以下参照）を記載しております。

### ① 損益計算書

(単位:百万円)	2013年	2014年	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	1～12月 A	1～12月 B		
売上高	55,291	58,089	2,797	5.1
製商品売上高	55,067	57,864	2,797	5.1
腎・透析領域	22,333	24,437	2,103	9.4
皮膚・アレルギー領域	12,336	11,687	△648	△5.3
HIV領域	13,804	15,527	1,722	12.5
その他	6,592	6,210	△381	△5.8
不動産賃貸収入	224	225	0	0.4
売上原価	24,727	27,396	2,668	10.8
売上総利益	30,564	30,693	129	0.4
販売費及び一般管理費	26,942	25,659	△1,283	△4.8
販管費（研究開発費除く）	19,772	20,780	1,008	5.1
研究開発費	7,170	4,878	△2,291	△32.0
営業利益	3,621	5,033	1,412	39.0
経常利益	3,738	5,168	1,429	38.2
当期純利益	2,335	3,394	1,059	45.4

### 売上高に対する比率

(単位:%)	2013年	2014年	増減 B-A
	1～12月 A	1～12月 B	
売上原価	44.7	47.2	2.5
販売費及び一般管理費	48.7	44.1	△4.6
研究開発費	13.0	8.4	△4.6
営業利益	6.5	8.7	2.2
経常利益	6.8	8.9	2.1
当期純利益	4.2	5.8	1.6

#### <12ヶ月間の計算方法>

##### ・2013年1～12月

2013年1～3月（2013年3月期第4四半期実績（12ヶ月）－2013年3月期第3四半期実績（9ヶ月））  
+ 2013年4～12月（2014年3月期第3四半期実績）

##### ・2014年1～12月

2014年1～3月（2014年3月期第4四半期実績（12ヶ月）－2014年3月期第3四半期実績（9ヶ月））  
+ 2014年4～12月（2014年12月期実績）

## ② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2013年 1~12月 A	2014年 1~12月 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	55,067	57,864	2,797	5.1
レミッチカプセル	13,415	14,970	1,555	11.6
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
ツルバダ配合錠	12,690	12,717	26	0.2
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]				
アンテベート ※1	7,111	6,747	△364	△5.1
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]				
注射用フサン ※1	4,201	3,499	△701	△16.7
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
スタビルド配合錠 ※2	696	2,466	1,769	254.2
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]				
ケイキサレート ※1	2,233	2,253	19	0.9
高カウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
ビオスリー	2,012	2,123	111	5.5
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]				
ユリノーム錠 ※1	2,483	1,901	△582	△23.4
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]				
リオナ錠 ※3	—	1,811	1,811	—
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]				
ドボネックス軟膏	1,855	1,670	△185	△10.0
尋常性乾癬治療剤 [皮膚・アレルギー領域]				
ゼフナート	1,541	1,450	△90	△5.9
抗真菌薬 [皮膚・アレルギー領域]				
ロコイド ※1	1,384	1,337	△47	△3.4
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]				
マグセント	1,249	1,192	△56	△4.5
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]				
その他製商品	4,191	3,721	△470	△11.2

※1 自社品

※2 「スタビルド配合錠」は、2013年5月から販売しております。

※3 「リオナ錠」は、2014年5月から販売しております。

### Ⅲ 2015年12月期 業績予想

※当社は、2014年12月期から、決算期を毎年3月31日から毎年12月31日に変更しております。  
参考として「2014年1～12月数値」（計算方法はP.8を参照）を記載しております。

#### ① 損益計算書

(単位:百万円)	2014年 1～12月 A	2015年12月期 通期予想 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
売上高	58,089	63,000	4,910	8.5
製商品売上高	57,864	62,830	4,965	8.6
腎・透析領域	24,437	27,330	2,892	11.8
皮膚・アレルギー領域	11,687	13,890	2,202	18.8
HIV領域	15,527	15,540	12	0.1
その他	6,210	6,070	△140	△2.3
不動産賃貸収入	225	170	△55	△24.7
売上原価	27,396	30,700	3,303	12.1
売上総利益	30,693	32,300	1,606	5.2
販売費及び一般管理費	25,659	26,800	1,140	4.4
販管費（研究開発費除く）	20,780	22,270	1,489	7.2
研究開発費	4,878	4,530	△348	△7.1
営業利益	5,033	5,500	466	9.3
経常利益	5,168	5,600	431	8.3
当期純利益	3,394	3,500	105	3.1

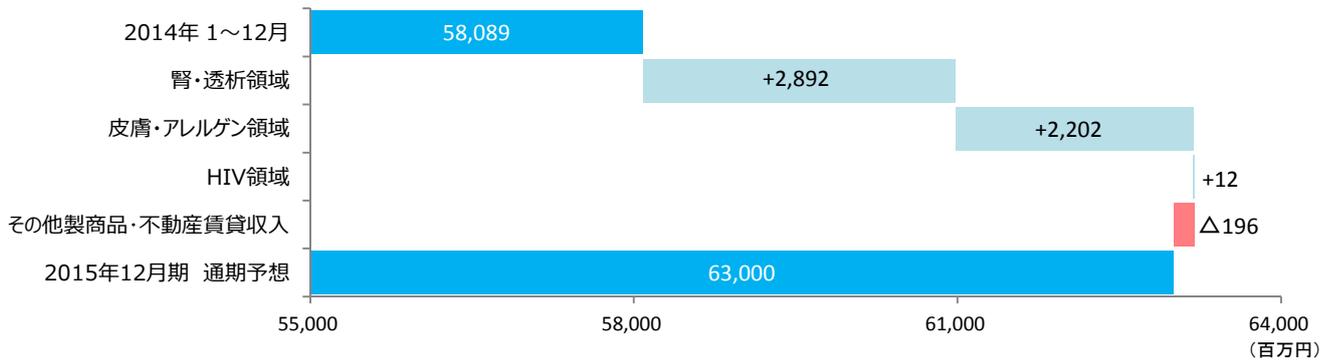
※2015年12月期 通期予想における売上高、営業利益、当期純利益は、中期経営計画(2013年4月25日公表)で掲げた2015年度の経営目標から変更ありません。

#### (参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2014年 1～12月 A	2015年12月期 通期予想 B	増減 B-A
売上原価	47.2	48.7	1.5
販売費及び一般管理費	44.1	42.6	△1.5
研究開発費	8.4	7.2	△1.2
営業利益	8.7	8.7	0.0
経常利益	8.9	8.9	0.0
当期純利益	5.8	5.6	△0.2

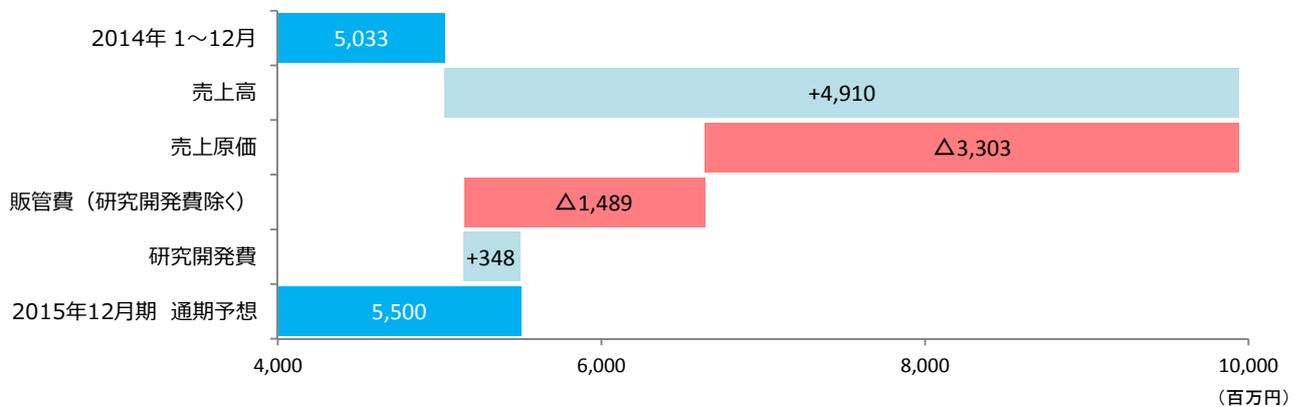
【対前年同一期間増減要因】

売上高（63,000百万円 対前年同一期間 +4,910百万円）



主な増減要因			
腎・透析領域	： リオナ錠	+2,808百万円	、 レミッチカプセル +439百万円
	ケイキサレート	+236百万円	、 注射用フサン △299百万円
	ユリノーム錠	△291百万円	
皮膚・アレルギー領域	： シダトレン スギ花粉舌下液	+2,739百万円	、 アンテベート △287百万円
HIV領域	： スタビルド配合錠	+543百万円	、 ツルバダ配合錠 △437百万円
※詳細はP.12「② 製商品別売上高」を参照			

営業利益（5,500百万円 対前年同一期間 +466百万円）



主な増減要因	
売上原価	： 販売品目の構成変化、売上高の増加
販管費（研究開発費除く）	： 給料及び手当の増加、販売促進費の増加
研究開発費	： 臨床試験費用の減少

経常利益（5,600百万円 対前年同一期間 +431百万円）

特記事項：特になし

当期純利益（3,500百万円 対前年同一期間 +105百万円）

特記事項：特になし

## ② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2014年 1~12月 A	2015年12月期 通期予想 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	57,864	62,830	4,965	8.6
レミッチカプセル	14,970	15,410	439	2.9
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
ツルバダ配合錠	12,717	12,280	△437	△3.4
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]				
アンテベート ※1	6,747	6,460	△287	△4.3
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]				
リオナ錠 ※2	1,811	4,620	2,808	155.0
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]				
注射用フサン ※1	3,499	3,200	△299	△8.6
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
スタビルド配合錠	2,466	3,010	543	22.1
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]				
シダトレン スギ花粉舌下液 ※1、3	80	2,820	2,739	-
スギ花粉症の減感作療法(アレルギー免疫療法)薬 [皮膚・アレルギー領域]				
ケイキサレート ※1	2,253	2,490	236	10.5
高カルウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
ビオスリー	2,123	2,200	76	3.6
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]				
ユリノーム錠 ※1	1,901	1,610	△291	△15.3
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]				
ドボネックス軟膏	1,670	1,520	△150	△9.0
尋常性乾癬治療剤 [皮膚・アレルギー領域]				
ロコイド ※1	1,337	1,330	△7	△0.5
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]				
ゼフナート	1,450	1,320	△130	△9.0
抗真菌薬 [皮膚・アレルギー領域]				
マグセント	1,192	1,260	67	5.7
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]				
その他製商品	3,641	3,300	△341	△9.4

※1 自社品

※2 「リオナ錠」は、2014年5月から販売しております。

※3 「シダトレン スギ花粉舌下液」は、2014年10月から販売しております。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2014年 1~12月 A	2015年12月期 通期予想 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
自社品売上高	17,657	19,840	2,182	12.4
自社品比率 (%)	30.5	31.6	1.1	-

### ③ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2014年 1~12月 A	2015年12月期 通期予想 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
設備投資額	1,726	2,277	550	31.9
有形固定資産	1,286	2,052	765	59.5
無形固定資産	440	225	△215	△48.9

#### 設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力向上を目的とする製造設備への投資  
 無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

### ④ 非資金項目

(単位:百万円)	2014年 1月~12月 A	2015年12月期 通期予想 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
減価償却費	1,218	1,382	163	13.5
長期前払費用償却費	918	812	△106	△11.6

### ⑤ 配当

	2014年12月期 通期(4~12月) A	2015年12月期 通期予想 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
1株当たり配当金 (円)	40	48	8	20.0
配当性向 (%)	46.8	38.8	-	-

#### 【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見通しを見直すとは限りません。なお、現時点において、実際の業績等に影響を与えるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。(かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- ◇ 医薬品医療機器等法その他の法令または規制の変化
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発の遅延または中止
- ◇ 製商品の供給停止、回収
- ◇ 薬価の決定、改定
- ◇ 訴訟の提起